

穴水高校だより

石川県立穴水高等学校
令和8年1月8日発行

令和7年度第10号

3 学期始業式～式辞より抜粋～

1月1日、能登半島地震から2年が経過しました。輪島での追悼式の様子や、それぞれの場所で復旧復興に向けて取り組む住民の姿が報道されていました。生徒の皆さんの中にも仮設住宅での生活が続いている人もいます。2年が経過しても、まだまだ震災前の状態に戻ったわけではありません。この時期に「アニバーサリー反応」と呼ばれる様々な反応が起こり得ます。ある出来事から1か月、半年、1年、2年といった節目の時期に、一度おさまっていた心身の反応がぶり返すことがあります。TVや新聞の報道を目にしたたり、生活環境が改善しないことへのストレスだったり理由は様々ですが、緊張や不安、眠れない、いらいらする、勉強に集中できない等の反応が出るかもしれません。そんなときは、これは誰にでも起こりうることで知っておいてください。そして、一人で悩まず、友人や家族、先生に伝えて下さい。皆で乗り越えていきましょう。

さて、今年は勢いや強さを象徴する「丙午(ひのえうま)」の年です。新年の新聞で、いしかわ首長(町長や市長)の座談会、今年の一字という記事を目にしました。「翔」(町全体が飛翔する、の翔)、「興」(復興を優先し、町が振興するように、の興)、「活」(市民が活躍するように、の活)、「創」(市民の希望を創る、の創)、「連」(連帯、連続性を大切に、の連)など、それぞれの首長は、市町の復興と飛躍を漢字一字に込めていました。

そこで私も新しい年を迎え、今の思いを漢字一文字で表してみました。「**続**(つづく)」です。震災前も後も人生は続いていきます。

良いことがあっても悪いことがあっても、人生は続きます

令和8年10月10日には「創立80周年記念式典」が行われます。本校がこれまで紡いできた歴史を未来へ繋ぐために、我々は今を精一杯生きなければなりません。

三学期は年度の最後であり、学年の締めめの学期ですが、同時に新しい令和8年のスタートの学期でもあります。この三学期で、3年生は進学・就職に向け、新たなステージへ旅立つ準備をしっかりと行ってください。そして1、2年生は1つ上の学年に進むために力を蓄えてください。この三学期が、これからの皆さんの人生を決める大切な3ヶ月になります。今年迎える創立80周年が90年、100年と続いていくようこれからも生徒、教職員が一丸となって「チーム穴高」で進んでいきましょう。

令和8年1月7日(水) 校長 島崎 康一



福澤諭吉記念弁論大会

12月5日(金)、大分県中津市で福澤諭吉記念第64回全国高等学校弁論大会が行われ、本校弁論部の大橋香菜美さん(2年)が**第2位の優秀賞(大分県知事賞)**を受賞しました。

この大会は全国の高校生の弁論力の向上と大会を通じた交流を目的に毎年開催されているもので、原稿審査を通過した全国の28人の弁士が競い合いました。

令和元年に本校卒業生の竹中那琉世さん(当時1年生)が最優秀賞の慶應義塾賞を受賞、昨年度は松本心和さん(3年)が第2位を受賞するなど、近年は本校弁論部が上位入賞を果たしています。

大橋さんは来年夏に秋田県で行われる第50回全国高等学校総合文化祭弁論部門の出場を既に決めています。今後のさらなる飛躍に期待しています。



英語検定優秀団体賞

12月8日(月)、英語技能検定2級合格者並びに「優秀団体賞」受賞報告会が穴水町役場で行われました。穴水中学校の生徒3名と穴水高校の生徒2名が大間教育長を前に、受賞の喜びについて英語でスピーチしました。

また、本校の英語科、四ツ井諒太教諭が受験率伸長差部門で「**優秀団体賞**」を受賞したことを大間教育長に報告しました。穴水高校生は日頃からALTの先生と活発に会話しており、「使える英語」を目標にしています。



他校との交流事業

☆富山県立氷見高校・氷見市立北部中学校との交流会☆

11月21日(金)、氷見高校・氷見市立北部中学校との交流事業が北部中学校で行われました。この交流事業は、「ふるさと教育創造的復興教育事業」の一環として行われ、本校からは前期生徒会役員5名が交流会に参加しました。お互いの震災体験をそれぞれ発表した後、生徒たち同士で率直な意見交換を行いました。震災被害からどのように復興を目指していくのか、学生・高校生ができることは何かといったことについてお互いに意見を出し合い議論を深めました。



☆岩手県立大槌高校との交流会☆

12月16日(火)、本校1年生5人と大槌高校7人の生徒とのオンライン交流会が行われました。大槌高校は東日本大震災の直後に避難所となり、家族の安否もわからない状況で学校に留まることになった当時の高校生達の経験や、その後どのように復興研究会が立ち上げられたかということについて詳しく発表してくれました。それぞれ地震の被災地という共通点を持ち、高校生ができることを模索しているという意味で互いに学び刺激を受け合い、今後も実りある交流会になることを期待しています。



シイタケハウス入室作業

12月10日(水)、2年生が5月に植菌したシイタケのほだ木をハウスに入室するシイタケハウス入室作業を行いました。地元生産農家の高森正治さんや県農林総合研究センターの八島武志さんらのご指導のもと、約200本の「ほだ木」をハウスに移動した後、骨組のパイプの上にビニールシートをかぶせました。天候に恵まれ、冬の日差しが注ぐ中、生徒たちは手際よく短時間で作業を終えることができました。近年まで日本きのこセンター技術主幹を務められていた平野伸夫さんは「係の生徒やその日の当番に任せるのではなく、全員が毎日シイタケを見守っていく心構えでやって下さい。良い『のどまり』が育ってくれることを期待しています。」と励ましの言葉をいただきました。

今後2年生全員で水やりや温度管理、袋掛けなどの世話をしていきます。



1 月行事予定

1(木)	元日	19(月)	色覚検査(1・2年希望者)、大学入学共通テスト自己採点(午前)
5(月)	仕事始め、3年共通テスト演習再開(~1/15)、定時退校日	21(水)	データネット共通テスト自己採点結果リリース
7(水)	3学期始業式、課題テスト、いじめアンケート調査、身だしなみ指導心とからだの健康調査③、定時退校日	22(木)	SC(西崎)来校日(午後)
13(火)	体重測定、面談週間(~1/15)	23(金)	第3回漢字検定
14(水)	SC(高)来校日(10:00~)	24(土)	第4回全統高1記述模試、大学入学共通テスト追試験①、三者面談(3年)①
15(木)	百人一首大会	25(日)	大学入学共通テスト追試験②、三者面談(3年)②
16(金)	大学入学共通テスト出発式、英語検定③(1次)	26(月)	学年末考査(3年)時間割発表
17(土)	大学入学共通テスト①、ベネッセ総合学力テスト(1・2年)	28(水)	SC(高)来校日(10:00~)
18(日)	大学入学共通テスト②、ベネッセ総合学力テスト(2年)	30(金)	のどまり収穫作業(2年)
		31(土)	のどまり初競り(2年)

